

プロセス4 夢を実現させる(創る)

【行動計画P. 11~18】

項目	事業名	担当課	(1)令和4年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値 (H27)	目標値 (R4)	現状値 (R4)
				①~⑦					
(1)市事業への「協働」の導入推進	協働事業の試行	市民協働推進課	未実施	-	D	新型コロナウイルス感染症の影響で各課の事業が中止または内容変更となっている中、事業の洗い出しをすることは困難と判断したため。	事業の施行 未実施	事業の施行 実施	事業の施行 未実施
	文書配布業務の効率化	市民協働推進課	自治会長負担軽減のため、文書量の削減に取り組んでいる。配送は会計年度任用職員を任用して実施。安全性向上のため、次年度以降の配送業務外部委託の準備を行った。	⑤	B	円滑な文書配布を行うことができた。令和5年度からの配送業務外部委託も行うことができた。	評価の実施 実施	評価の実施 充実	評価の実施 充実
	男女共同参画フォーラム	市民協働推進課	3年ぶりに男女共同参画フォーラムを開催した。 実施日：令和4年12月4日(日) 内容：男女共同参画推進事業者表彰、短編映画の上映、講演、抽選会 講師：越村 佳代子氏 参加者：96名	②	A	当日の参加者が少なかつたため、開催方法の検討を含め集客に励む必要がある。	フォーラムの実施 実施	フォーラムの実施 充実	フォーラムの実施 充実
	男女共同参画セミナー	市民協働推進課	高校生出前講座を市内高校4校にて開催した。内容はデートDVとし、地域推進員と協働でこれから社会に出る高校生に対しデートDV防止の啓発が出来た。	②	B	地域推進員の参加者が少なかった。さらに協力を要請する必要がある。	セミナーの実施 実施	セミナーの実施 充実	セミナーの実施 実施
	市希少野生動植物の保護に関する条例の運用	環境課	・保全協定区について、監視員による監視活動を実施した。 ・動植物調査研究会との協働により、生息地等保全協定の候補地の調査及び選定を行った。	①⑦	C	生息地等保全協定により地域に根付いた保護活動が実施できた。	保全協定区域 15区	保全協定区域 25区	保全協定区域 19区
	廃棄物減量等推進員(ごみ減量推進員)制度の運用	廃棄物対策課	・第1回研修会(役割及び市の現状等を説明) 日時：令和4年5月12日(木)及び13日(金) ・第2回研修会 日時：令和4年11月28日(月)	①	A	ごみ減量推進員が地域で行う活動を支援し、知見の増加や疑問の解決に寄与した。	活動支援 実施	活動支援 充実	活動支援 充実
	民生委員・児童委員活動支援	社会福祉課	那須塩原市民生委員児童委員協議会連合会への補助金の交付及び事務局の運営	②	B	補助金の交付及び事務局の運営を滞りなく実施した。コロナ禍継続中、研修会の開催方法をyoutubeやDVD視聴等、受講の選択肢を設けるほか、一斉改選に伴う新任者研修、新年研修会も感染対策に留意しながら工夫して開催し、委員の資質向上を図ることができた。	補助金の交付 交付	補助金の交付 充実	補助金の交付 充実

項目	事業名	担当課	(1)令和4年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値 (H27)	目標値 (R4)	現状値 (R4)
				①～⑦					
	ふれあいのまちづくり推進事業	社会福祉課	弁護士による無料相談の実施	①⑦	B	身近で利用しやすい相談事業とするため、市内5か所の会場での開催に加え、黒磯及び西那須野地区においては、平日と休日に交互に相談窓口を開設し、相談事業を実施した。	事業の実施 実施	事業の実施 充実	事業の実施 充実
	生活困窮者自立支援事業	社会福祉課	自立相談支援事業業務委託 (生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、生活困窮者に対する支援の種類及び内容等を記載した計画の作成、各種施策・福祉サービス等の利用のあっせん等様々な支援を一体的かつ計画的に行い、生活困窮者の自立の促進を図る。)	③	B	対象者が就労につながるアセスメント・プランを作成し、確実に就労支援をすることができた。	困窮状態からの脱却率 -	困窮状態からの脱却率 15%	困窮状態からの脱却率 14%
	ファミリーサポートセンターの運営	子育て支援課	子育ての援助を受けたい人と子育ての援助を行える人を会員として組織し、会員同士が行う子育ての援助活動を支援することにより、安心して子育てができる環境を整備する。	②	A	安定した子育ての援助活動ができた。	活動件数・会員数 1,042件	活動件数・会員数 1,400件	活動件数 2,069件
	中心市街地活性化事業	商工観光課	【黒磯駅周辺地区中心市街地】 ・黒磯駅前活性化委員会主催イベントへの補助 ・まちなか交流センターの管理運営 【西那須野地区中心市街地】 ・にしなすのまちなか活性化協議会への補助(街づくり活動・イベント)	①②④⑤⑦	C	コロナの影響を受けながらも、地域住民や関係団体と協力し、イベントの開催等、中心市街地活性化に向けた取り組みを実施することができた。 中止となってしまったイベントもあったが、コロナ対策を図り実施した一部のイベントには多数の人が訪れ、にぎやかな催しとなった。 黒磯駅周辺地区においては、中心市街地活性化の拠点となるまちなか交流センター「くるる」でイベントを実施することで、住民等との協働によりにぎわいが創出された。 西那須野地区中心市街地においては、私有の遊休土地を活用しイベントを開催したり、飲食店と協力しまちの賑わいを創出したりと地域の状況に見合った活性化が図られた。	イベント回数 14回	イベント回数 18回	イベント回数 17回

項目	事業名	担当課	(1)令和4年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値 (H27)	目標値 (R4)	現状値 (R4)
				①～⑦					
(1)市事業への「協働」の導入推進	議場コンサート	議事課	【第15回議場コンサート】 開催日:令和4年6月6日 演奏者:君島大輔(シンガーソングライター) コンサート傍聴者:16人 【第16回議場コンサート】 開催日:令和4年11月28日 演奏者:タヤケクインテット(木管アンサンブル隊) コンサート傍聴者:22人	①	C	議場でコンサートを開催することで、市民の方々が議場へ足を運び、議会を傍聴するきっかけづくりになった。傍聴者アンケートでは、コンサートを傍聴の理由とする回答が増えた。また、那須地区で活動するアーティストの情報発信の場の提供につながった。	傍聴者数 76人	傍聴者数 90人	6月定例会 傍聴者数 16人 12月定例会 傍聴者数 22人
	学校評議員制度	学校教育課	・各小中学校等において、評議員会を1～3回実施、内容を市教育委員会へ報告。 ・学校評議員から出た意見等は、学校運営に反映させる。	①	B	学校・家庭・地域の協力関係を高めるとともに地域社会に開かれた学校づくりを推進出来ている。	委嘱人数 小学校 123人 中学校 53人	委嘱人数 小学校 130人 中学校 55人	委嘱人数 小学校 99人 中学校 43人 義務教育学校 5人
	20歳の集い(旧:成人式)	生涯学習課	実行委員による「20歳の集い」の開催 開催日:令和5年1月8日(日) 場所:大正堂くろいそみるひいホール、GUNEI三島ホール、ハロープラザ 参加者:906人 内容:実行委員作成の記念動画上映、記念撮影スペースの設置	①	C	コロナ禍により黒磯・西那須野会場については午前・午後の2部制での開催となったが、20歳の節目を祝うとともに、社会人としての自覚と責任、社会に参画する意識の高揚を図ることができた。	参加率 77%	参加率 80%	参加率 75%
	少年指導員の巡回指導事業	生涯学習課	巡回指導活動等の実施 通常巡回指導回数:296回、延人数:1,002人 特別巡回指導回数:5回、延人数:71人	①⑤⑦	C	昨年度より巡回回数を増やして実施することができた。また、いちご一会とちぎ国体開催期間に特別巡回を行い、非行防止、早期発見に努めた。	少年指導員数 119人	少年指導員数 135人	少年指導員数 116人
	マイチャレンジ事業	生涯学習課 (学校教育課)	新型コロナウイルス感染症まん延防止のため市の事業としては実施しなかったが、各学校の実態に応じて、職業講話や独自のマイ・チャレンジ事業を実施	④	D	新型コロナウイルス感染症まん延防止のため市の事業としては実施せず。令和5年度はコロナ禍前の令和元年度と同様の形式で実施する予定。	受け入れ 先新規数 0件	受け入れ 先新規数 25件	受け入れ 先新規数 21件
国際交流協会への支援	市民協働推進課	国際交流協会事業費の補助	②	B	日本語教室のほか、ボランティア養成講座を実施し、指導者の人材確保につながった。また、ドイツ語教室や講演会、クリスマスイベント等実施し、市民の国際理解を推進できた。	事業数 13事業	事業数 13事業	事業数 13事業	

項目	事業名	担当課	(1)令和4年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値 (H27)	目標値 (R4)	現状値 (R4)
				①～⑦					
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	国際交流員を活用した国際交流の推進	市民協働推進課	オリパラレガシー事業における通訳・翻訳業務やその他団体への派遣	②⑦	B	オーストリア側との連絡調整やオンライン交流会時の通訳等を行った。また、市民団体主催のイベントにも参加し、市民の国際交流に対する関心を深めることができた。	派遣数 5件	派遣数 8件	派遣数 31件
	自治会、地区自治会長会及び自治会長連絡協議会への支援	市民協働推進課・(西)総務事務課・(塩)総務事務課	総務委員会、総会、自治会長研修会、視察受入、県自連事業参加、市との懇談会開催への支援を行った。自治会長一斉メールを活用した情報周知を行った。	⑤	B	支援により自治会活動の活性化を図り、負担軽減を行うことができた。	評価の実施 実施	評価の実施 充実	評価の実施 充実
	市民提案型協働のまちづくり支援事業	市民協働推進課	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和3年度に延期された令和2年度採択事業は7件のうち3件のみ実施できた。	②③⑤⑦	C	幅広い団体から提案があり、実施された際には、協働のまちづくりへの気運が高まり、市民主体によるまちづくりが促進されると考えられる。	支援団体数 12団体	支援団体数 15団体	支援団体数 5団体
	環境連絡会による施策の実施	気候変動対策課	環境連絡会の今後の在り方を検討するため、市民や事業者の立場から環境連絡会に期待すること等の意見を聴取した。	①②③④⑤⑦	C	新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、現地、オンラインを併用した会の開催を行った。 温室効果ガス排出量の目標値は、市民、事業者の画一的な取組では達成することが困難であるため、会の再編について引き続き検討を行う。	排出された温室効果ガス -	排出された温室効果ガス 892千t-co2	
	ホテル観察会	環境課	ほたる水路保存会との協働によりホテル観察会を実施した。	⑤	C	ホテル観察会を通して市民の環境保全意識の向上を図ることができた。	支援団体数 1団体	支援団体数 3団体	支援団体数 1団体
	市民一斉美化運動	廃棄物対策課	市民による不法投棄物等の一斉清掃を実施 (春)令和4年5月28日 (秋)令和4年11月13日 参加者合計：33,777人	①⑤	C	多くの方々に参加をいただき実施することができた。地域の良好な環境維持に寄与することができた。	参加率 30%	参加率 35%	参加率 28.9%
	不法投棄防止協定	廃棄物対策課	市内のタクシー事業者、森林組合等と不法投棄通報の協定を締結しており、本年度も同協定を引き続き運用した。	④	C	市内の不法投棄事案の早期是正を図ることができた。	苦情・相談処理 171件数	苦情・相談処理 140件数	苦情・相談処理 184件数

項目	事業名	担当課	(1)令和4年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値 (H27)	目標値 (R4)	現状値 (R4)
				①～⑦					
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	集団資源回収事業	廃棄物対策課	集団資源回収登録団体に対し、回収した資源物の量に応じた交付金を交付(336件)	②⑤	A	ごみの減量化及び資源化に対する意識の向上が図られた。	登録団体数 117団体	登録団体数 120団体	登録団体数 124団体
	那須地区レジ袋削減推進協議会との連携	廃棄物対策課	-	①②④	E	レジ袋の削減推進を一定水準満たしたため、協議会を解散	レジ袋削減コンテスト応募者数 356人	レジ袋削減コンテスト応募者数 380人	-
	那須地域環境対策連絡協議会との連携	廃棄物対策課	同協議会の総会、役員会、勉強会等への出席等	⑤	B	同協議会との環境問題に関する情報共有、意見交換を図ることができた。	活動の支援 実施	活動の支援 充実	活動の支援 充実
	自主防犯活動支援事業	生活課	市内で自主的に防犯パトロール等を行い、犯罪を未然に防ぐための活動を実践する団体に対し、必要物品の購入費の一部補助を行う。	②⑤	A	犯罪認知件数については昨年度より増加したが、目標値を達成した。また、自主防犯活動の補助制度の見直しを行い、令和5年度から補助対象経費を拡充し、申請間隔を3年に1回から毎年に改正した。	犯罪認知件数 1,052件	犯罪認知件数 900件	犯罪認知件数 582件 (うち本市分465件)
	人権擁護委員協議会への支援	市民協働推進課	「人権の花活動」の実施、各地区人権擁護委員協議会への補助金交付、人権相談の実施、人権にかんする講話の実施	①②⑦	C	新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、可能な限り「人権の花活動」や「人権相談」を実施した。	補助金の交付 実施	補助金の交付 充実	補助金交付 実施
	地域自立支援協議会との連携	社会福祉課	・協議会(全体会)開催 2回 ・相談支援部会開催 10回 ※人材育成グループ8回を含む。 ・事業所部会開催 5回 ※就労グループ2回、子どもグループ2回を含む。 ・当事者部会開催 1回 ※フリースペースは12回実施	②③④⑤⑥⑦	C	様々な機関・団体で構成される協議会全体会の開催をはじめ、専門部会の会議や各グループ活動等が活発に行われ、地域課題の抽出及びその解決策の検討を行うとともに、障害福祉施策の推進を図ることができた。	全体会・専門部会の開催 20回	全体会・専門部会の開催 25回	全体会・専門部会の開催 18回
	精神障害者福祉啓発事業	社会福祉課	講演会の開催:令和4年11月19日(土) 那須フロンティアフォーラム 障害の枠を超えて～生き心地の良い町になるために～ 参加者:81	②	B	講演及び意見交換を通じ、病気や障害の有無にかかわらず、それぞれの立場の人が自分自身にできることを考え、自殺予防対策の一助となる機会となった。	啓発事業開催回数 1回	啓発事業開催回数 1回	啓発事業開催回数 1回

項目	事業名	担当課	(1)令和4年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値 (H27)	目標値 (R4)	現状値 (R4)
				①～⑦					
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	敬老会事業	高齢福祉課	敬老事業を実施する団体に補助金を交付。 (対象者は年度内に80歳以上になる人) ※令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業未実施の団体あり。 また、会の開催自粛は行わないこととしたが、引き続き訪問による敬老事業も補助の対象とした。	①③⑤	B	敬老事業を実施することで、地域住民の高齢者に対する敬老意識を高めることができた。	敬老会主催団体 128団体	敬老会主催団体 130団体	敬老会主催団体 146団体
	街中サロン推進事業	高齢福祉課	事業廃止	-	E	一部利用者の固定化により、補助事業として公平性が保てなくなってきたため、令和元年度末をもって閉鎖。	支援団体数 2団体	支援団体数 3団体	-
	生きがいサロン推進事業	高齢福祉課	自治会や老人クラブ等地域の拠点となる団体に対し、運営費補助金と運営支援を実施した。令和4年度の実施団体は49団体。 ※令和4年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業未実施の団体あり。	①②③④⑤	C	サロンの運営や活動を支援することにより、高齢者をはじめとする地域住民の自治について、参加意識を高めることができた。	支援団体数 51団体	支援団体数 63団体	支援団体数 60団体
	介護支援ボランティアポイント事業	高齢福祉課	高齢者の社会参加・介護予防の推進を目的として、高齢者が介護保険サービス施設や事業所で行うボランティア活動を支援した。 現在活動登録しているボランティアは119人。	①②③④	C	元気な高齢者が積極的なボランティア活動を行うことにより、社会参加の促進や自身の健康増進、介護予防に繋げることができた。	ボランティア登録数 77人	ボランティア登録数 250人	ボランティア登録数 119人
	地域づくり型介護予防事業	高齢福祉課	46箇所の「住民主体の介護予防のための通いの場」にリハビリ専門職等を派遣し、いきいき百歳体操定着のための活動を支援	①②③④⑤⑦	A	地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携した地域づくりを進めながら、通いの場の定着化を図ることができた。	介護予防の通いの場 0箇所	介護予防の通いの場 40箇所	介護予防の通いの場 46箇所
	窓口用封筒の作成及びオリジナル届書・窓口用冊子の作成	市民課	①・封筒提供事業者を公募し実施 ・広報、ホームページにより事業者を募集 ②・オリジナル届書・窓口用冊子提供事業者を公募し実施 ・ホームページにより事業者を募集	④	B	ゼロ予算で封筒、オリジナル届書、窓口用冊子を市民に提供でき、市をPRすることができた。	継続的な作成 実施	継続的な作成 充実	継続的な作成 実施
	林道交通安全対策事業	農林整備課	林道愛護団体が実施する草刈りなどの林道の保守活動に要する経費の一部を補助することにより、林道の安全な通行を確保します。	⑤	C	今回活動できなかった団体に対し、直接情報提供をする。	支援団体数 3団体	支援団体数 5団体	支援団体数 5団体
	那須野巻狩まつり	商工観光課	令和4年度は団体の開催のため中止した。 ※代替事業なし。	①②③④⑤⑦	D	令和4年度は団体の開催のため中止した。 ※代替事業なし。	民間協力員の割合 49% 142人	民間協力員の割合 60% 173人	実績なし

項目	事業名	担当課	(1)令和4年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値 (H27)	目標値 (R4)	現状値 (R4)
				①~⑦					
	市民参加型違反広告物除却推進事業	都市計画課	市民参加による地域での違反広告物の除去活動(2団体において実施)	②	B	除却すべき広告物が減少している。	巡回の実施 実施	巡回の実施 充実	巡回の実施 継続
	道路愛護事業	道路課	「道路ふれあい月間」や「道路愛護月間」等における道路清掃、道路沿いの草刈や枝切り(参加者:194団体、のべ58,334名)	⑤	C	自主的な道路環境の整備及び美化活動が住みよい地域社会づくりに貢献している。	作業参加 団体数 210団体	作業参加 団体数 210団体	作業参加団 体数 194団体
	河川愛護事業	道路課	各地区の愛護会が美化活動を実施(参加者:22団体、のべ1,025名)	⑤	B	自主的な愛護活動が河川環境の美化に貢献している。	河川愛護 会数 36団体	河川愛護 会数 36団体	河川愛護会 数 36団体
	開こん記念祭	(西)総務税務課	市や関係機関、各種団体等で実行委員会を組織し、次年度の事業内容を決定している。令和4年度は式典を実施しなかったため、PR用動画を新聞折込やみるメールで宣伝する等開こんの歴史を伝承するための事業を行った。	①②③⑤⑦	C	式典として実施はしていないが、実行委員会を組織しているため事業内容は協働で取り組んでいる。	参加者数 2,000人	式典中止 のため目 標値なし	式典中止の ため目標値 なし
	西那須野ふれあいまつり	(西)産業観光建設課	令和4年度は国体の開催の為に中止した。代替イベントについて企画したが、準備期間中に、コロナ感染者が一時的に増えたために、代替イベントも中止となった。	①②③④⑤	D	令和4年度は国体の開催の為に中止した。代替イベントについて企画したが、準備期間中に、コロナ感染者が一時的に増えたために、代替イベントも中止となった。	参加団体 数 134団体	参加団体 数 150団体	実績なし
	無形民俗文化財保護事業	生涯学習課	指定無形民俗文化財保存会15団体のうち、3団体に27,000円の補助金を交付した。未指定の無形民俗文化財保存会11団体のうち6団体に18,000円の補助金を交付した。	②⑤	C	感染症対策下での活動において、補助金を基に活動を再開し、祭り等に参加することができた。	保存団体 数 15団体	保存団体 数 15団体	保存団体数 15団体
	創作劇「那須野の大地」	生涯学習課	劇団なすの「那須野の大地」 開催日:令和4年8月27日(土) 昼夜2回公演 場所:GUNEI三島ホール 内容:市民劇団「劇団なすの」による那須野が原の開拓を描いた創作劇	①②③	C	市民や子供たちが、中心となり、演劇を行うことで、幅広い世代に開拓の歴史を伝えることができた。	観覧者数 833人	観覧者数 1,200人	観覧者数 360人

項目	事業名	担当課	(1)令和4年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値 (H27)	目標値 (R4)	現状値 (R4)
				①～⑦					
(2)市民が実践する 「協働」事業の推進	市民オペラ活動支援事業	生涯学習課	くろいそオペラをつくる会「2022 秋のオペラコンサート」 開催日:令和4年11月27日(日) 場所:大正堂くろいそみるひいホール 内容:オペラコンサートの開催	①②③	C	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、公演を実施し、市民に文化・芸術に触れる機会を提供することができた。	観覧者数 750人	観覧者数 900人	観覧者数 340人
	文化協会への支援	生涯学習課	新型コロナウイルス感染対策のため、事業中止	①⑤	D	事業は中止し、県の事業のみ参加としたため。	会員数 1,194人	会員数 1,400人	会員数 875人
	なすしおばら童謡フェスタ	生涯学習課	事業廃止	-	E	実行委員会解散のため。	観覧者数 450人	観覧者数 500人	-
	西那須野産業文化祭	生涯学習課	国体のため事業中止	①②③④⑤ ⑥⑦	D	中止のため。	来場者数 35,000人	来場者数 38,000人	実績なし
	学社連携・融合事業	公民館	地域学校協働本部事業として、学校と地域が連携・協働し各種事業を実施した。	①②⑤	B	一部事業の中止もあり、目標値には達していないが、子供たちと地域住民との交流により地域の活性化が図られた。	参加者数 24,000人	参加者数 26,000人	参加者数 13,686人
	子供会育成会支援事業	公民館	単位子供会育成会への連絡調整等、事務的支援を行った。	⑤	C	地域の子どもたちの健やかな成長を図ることに寄与した。	評価の実施 実施	評価の実施 充実	評価の実施 充実
	公民館まつり	公民館	公民館まつりを開催し、公民館で活動している団体・サークルの活動成果を発表する場を提供した。	①②⑤	C	一部中止や飲食等の提供を控えたこともあり、参加者数は目標値に達していないが、発表に向けた練習が団体の活動意欲の向上につながった。	参加者数 20,000人	参加者数 22,000人	参加者数 3,981人
	那須塩原ハーフマラソン	スポーツ振興課	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催に伴い中止	①②③④⑤ ⑥	D	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催に伴う大会の中止	エントリー数 2,892組	エントリー数 2,900組	-

項目	事業名	担当課	(1)令和4年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果又は理由(改善策)	基準値 (H27)	目標値 (R4)	現状値 (R4)
				①～⑦					
(2)市民が実践する「協働」事業の推進	体育協会への支援	スポーツ振興課	生涯スポーツの振興、各種市民大会・教室等の開催支援、加盟団体相互の連携融和	①⑤⑦	C	感染対策を行うことで、新型コロナと共存を図りつつ、市民に対する各種スポーツ事業を展開できた。	評価の実施 未実施	評価の実施 実施	評価の実施 実施
	スポーツ少年団本部への支援	スポーツ振興課	リーダー研修会・指導者講習会の開催及び交流大会の開催支援	①⑤⑦	C	感染対策を講じることで、各種大会の実施やスポーツ指導者に対する講習会を実施することができた。	評価の実施 未実施	評価の実施 実施	評価の実施 実施
(3)「協働のまちづくり」推進体制の確立	協働のまちづくり推進協議会への支援	市民協働推進課	市民活動センターが平成30年4月に開設したことに伴い平成31年3月に解散。	-	E	-	会員数 25人	会員数 28人	-